

平成30年度 公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター事業報告

平成30年度の我が国経済は、緩やかな回復が続いており、輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつありました。一方で、一昨年夏に相次いだ自然災害の影響も関係し、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられました。

政府は、一連の自然災害の被災地の復旧・復興を全力で進めるため、平成30年度第1次補正予算を迅速かつ着実に実施しました。あわせて、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に速やかに着手するなど、追加的な財政需要に適切に対処するため、平成30年12月21日に平成30年度第2次補正予算を閣議決定し、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復していくことが見込まれました。

このような状況において、平成30年度の当センターの事業運営につきましては、公益社団法人として7年が経過し、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、引き続き各種事業の取組みを進めてまいりました。

まず、就業機会の確保と提供については、引き続き、当センターの事業について広く理解を求めるとともに、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、労働者派遣事業を積極的に進め、派遣事業の拡大を図りました。

次に、自転車・自動車駐車場施設の指定管理業務については、市と連携して、利用者が安全に安心して利用できるよう、高齢者や子育て世代に配慮した施設整備や防犯対策などに取り組み、よりきめ細やかなサービスを提供してまいりました。

また、安全・適正就業については、ガイドラインの周知・徹底を図り、違反に対する罰則を厳格に運用するとともに、安全管理委員会委員による巡回指導等を徹底し、さらなる安全就業等の推進を図ってまいりました。

さらに、高齢者の社会参加に向けた動機づけと、生きがいをもって就労のできる場や地域社会に参加できる場への紹介を行うセカンドライフのプラットフォーム事業を市から受託し、「生涯現役応援窓口」の運営を常設の市庁舎のほか臨時的に商業施設や公の施設で開設するなど市と連携し、継続して実施いたしました。

次に、事業の実施にあたりましては、平成29年度から平成33年度までの5年間の中期事業計画を策定し、この計画に位置付けられた各項目の目標を達成するため、平成30年度の具体的活動を確実に実施することとし、中期事業計画推進委員会において平成30年度の重点目標や活動事項などを定めるとともに、取り組み状況の確認や検証等を行いました。特に、当センターの主たる情報発信ツールのホームページについて、効果的運営ができるよう広報委員会と事務局において検討を重ねリニューアルしました。

各事業の実績ですが、請負・委任につきましては、受注件数及び受託件数は前年度と比較し減少となりましたが、契約金額は増加しました。労働者派遣事業においては、新たな就業先の開拓などにより前年度に引き続き大幅に増加しました。指定管理事業につきましては、引き続き業務の効率的かつ円滑な運営に努めました。

また、公益目的事業を行う事業者として、就業以外での地域社会への貢献と社会参加を目的に、海岸清掃や公園清掃などのボランティア活動を実施したほか、市民ふれあいまつりへ参加し、当センターのPR活動を行いました。両事業については、多数の会員の皆様に参加をさせていただきました。

会員数につきましては、毎月入会説明会を開催し、説明会に参加した方は314名で、そのうち入会した方は190名となり、年度中に退会した会員は150名で年度末の会員数は1,018名（前年度比104.1%）となりました。

安全就業につきましては、安全・適正就業作業ガイドラインの徹底と安全管理委員会委員の巡回指導などを行い、事故防止等に努めるとともに、作業手順の平準化のため就業マニュアルの作成に取り組んでまいりました。就業中及び就業途上の傷害事故は7件（前年度比140.0%）、就業中の賠償事故は6件（前年度比85.7%）となりました。今後も作業ガイドライン等に基づき事故防止に努めてまいります。

具体的な事業実績につきましては、初めに、請負・委任の受注件数は、公共76件（前年度比83.5%）、事業所440件（前年度比99.5%）、個人3,453件（前年度比95.0%）、合計3,969件（前年度比95.2%）、契約金額は、公共164,044,560円、事業所121,833,075円、個人82,303,819円、合計368,181,454円（前年度比104.2%）、就業実人員は799人（前年度比100.6%）、就業率は78.5%（前年度比△0.9ポイント）となりました。

次に、指定管理事業の施設利用料金収益は229,361,965円（前年度比99.3%）になりました。

また、労働者派遣事業の受注件数は、民間事業所に66件で、契約金額は、45,013,336円（前年度比153.7%）となり、この事業に伴う受託事業収益も大幅に増加しました。

なお、中期事業計画に基づく各事業の実施状況は次のとおりです。

1 各事業の実施状況

(1) 会員の就業機会の拡大及び提供

ホームページやリーフレット等を活用し公共機関などへ広く理解を求め、また、市民ふれあいまつりにおいて来場者へのリーフレットの配布、図書館のスポンサー制度の活用など、PR活動を行いました。嘱託職員（相談員）（セカンドライフコンシェルジュ）により、就業機会の開拓に努め、97事業所から198人の求人をいただき、会員の希望に沿った就業の場の提供をし、70事業所へ129人が就労いたしました。

また、中期事業計画に基づき、会員1人1就業開拓運動の取り組みとして、昨年度に引き続き、センターのパンフレットを5部、就業先やご近所のお知り合いの方などに配布の依頼をさせていただき就業機会の拡大を図りました。さらに、ホームページをリニューアルし、お客様の手続きや当センターが取り扱っている仕事の情報等を掲載し、仕事の拡大につながるよう取り組みました。

(2) 講習会等の実施

仕事に関する知識や技能の向上及び就業機会の拡大を図るため、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習の参加案内の周知や自主的な講習会として、植木技能講習会、除草講習会を実施しました。

(3) 就業情報の収集及び提供

ア 各種情報の提供や会員相互のコミュニケーションを図るため、会報「シルバーちがさき」を年2回、「シルバー通信」を年3回発行しました。

イ （公社）全国シルバー人材センター事業協会、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会等から各種情報の収集を行い、事業の推進に役立てました。

ウ ホームページにより各種情報の提供を行う中、内容等の検討を行い、就業機会の提供等をより効果的に行うため、ホームページに就業情報を具体的に掲載しました。

(4) 就業に関する調査

ア 未就業の会員の実情を踏まえ、就業機会が発生した場合に、適宜、就業の場を紹介し、未就業会員の減少に努めました。

イ 近隣のシルバー人材センターと事業実施状況等について情報交換を行いました。

ウ 発注者アンケートを平成31年3月に実施し、仕事への満足度などを調査し、今後の就業等の改善につなげていくこととしました。

(5) 就業に関する相談

就業に関する各種資料を整備し、事務局職員、嘱託職員（相談員）（セカンドライフコンシェルジュ）が随時相談に応じるとともに、就業先への紹介を行いました。

(6) 労働者派遣事業の拡大

（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、労働者派遣事業を積極的に実施し、30事業所130人、延べ10,759人日（前年度比181.9%）の派遣実績がありました。また、派遣会員に対し、教育訓練として接遇等の研修を実施しました。さらに、会員や事業者の要望に応え、職種により就業時間の拡大を図りました。

(7) 安全就業等の推進

ア 会員の事故防止のため、安全管理委員会委員による巡回指導等を適宜実施し、安全就業の推進を図りました。また、就業中のさらなる事故防止及び安全対策の推進を図るため、会員安全就業基準、安全・適正就業作業ガイドラインの周知徹底を図りました。

イ 前年度の事故報告や作業での注意事項等を会報などで周知し、会員の安全対策や健康管理の意識向上を図りました。

(8) 会員の自主的組織活動の推進

効率的な就業を推進するため職班制を継続し、自主的就業の推進を図りました。

(9) 会員確保の促進

ア 会員の口コミや市民ふれあいまつりにおいてリーフレット等を活用し、PR活動を行うとともに、ポスターを関係団体に掲示し、会員の確保に努めました。また、生涯現役応援窓口を通じて就労希望者に当センターへの入会を勧めました。

イ 年間20回の入会説明会を開催し、働く意欲があり当センター事業の趣旨に賛同する会員を募りました。

ウ 地域情報紙等を活用した普及啓発を行い、会員の確保に努めました。

(10) 事業収入の確保及び事業運営費の見直し

受託事業、派遣事業の実施や国、市補助金の確保を図るとともに、事業

運営等において効率化を図りました。

(11) 事業運営に寄与された方々の表彰

永年にわたり、当センター事業運営に寄与され、当センターの発展に貢献された会員29名を表彰しました。

(12) 会員相互の連携及び健康増進

就業以外の生きがいや健康づくりとして、同好会等のサークル活動の内容についてホームページ等において周知し、会員間の親睦やコミュニケーションの充実に努めました。

(13) 社会参加活動の推進

地域社会への貢献と社会参加の機会として、サザンビーチちがさきでの海岸清掃や「シルバーの日」の公園清掃のボランティア活動を行うとともに、市民ふれあいまつりに参加し地域に根ざした活動を行いました。

(14) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者に対して、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の活動拠点として5事業所8名の紹介を行いました。

(15) 指定管理業務の円滑な運営

市より平成28年度から平成31年度までの指定管理者として指定を受けており、自転車及び自動車駐車場施設の指定管理業務については、より良いサービスの提供と向上に向け、きめ細やかな利用者ニーズの把握に努め、高齢者や子育て世代が利用しやすく、また、安全管理を推進すべく駐車場の環境整備を図るとともに、業務に従事する職員及び会員に対して接遇の研修を実施しました。

また、茅ヶ崎市等と連携し、第2次ちがさき自転車プランの事業にも取り組みました。

(16) セカンドライフのプラットフォーム（高齢期の社会参加の仕組みづくり）事業の実施

セカンドライフのプラットフォーム事業（生涯現役応援窓口の運営）を茅ヶ崎市より受託し、高齢者が人生の成熟期に自分らしく活動し、生きがいをもって就労や、地域社会に参加する支援を昨年度に引き続き行いました。

生涯現役応援窓口については、週3日（火、木、金曜日）開設し延べ644名の相談に対応し、194名を事業所や関係団体に紹介しました。